

| | | | | | | |
|------|--|----|----|------|-----------|------------|
| 授業科目 | ソーシャルワーク演習（専門）B | | | | 実務家教員担当科目 | ○ |
| 単位 | 1 | 履修 | 選択 | 開講年次 | 3 | 開講時期 通年 |
| 担当教員 | 今村 浩司、笠 修彰 | | | | | |
| 授業概要 | <p>ソーシャルワーク演習A等の、精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れ、精神障害者の生活や生活上の困難について把握をしていく。また、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を身につけることを目的とする。さらに、総合的かつ包括的な相談援助、医療との協働・連携する相談援助に係る具体的な相談援助事例を体系的に取り上げ、ソーシャルワーク実習A、Bの体験を踏まえて、学生個人の体験を集団指導の中で一般化する。</p> <p>精神保健福祉領域で相談援助を実践してきた実務家教員として、個別指導並びに集団指導を通して、疑似的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態で行いながら、より具体性を高めていく。現実的状況理解促進のため、外部講師も招聘する予定である。</p> | | | | | |
| 授業形態 | 対面授業 | | | 授業方法 | グループワーク | |

学生が達成すべき行動目標

| 学生が達成すべき行動目標 | |
|--------------|---|
| 標準的レベル | 1. 精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、説明できる。 2. 精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について習得し、説明できる。 3. 専門的援助技術として概念化し理論化し、体系立てていくことが説明できる。 |
| 理想的レベル | 1. 精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、理解したうえで説明できる。 2. 精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について習得し、理解したうえで実践できる。 3. 専門的援助技術として概念化し理論化し、体系立てていくことが理解したうえができる。 |

評価方法・評価割合

| 評価方法 | 評価割合（数値） | 備考 |
|------------------|----------|-----------------|
| 試験 | 0 | |
| 小テスト | 0 | |
| レポート | 0 | |
| 発表（口頭、プレゼンテーション） | 20% | |
| レポート外の提出物 | 0 | |
| その他 | 80% | 講義中の発言・質問・参加姿勢等 |

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1 ○ DP2 ○ DP3 ○ DP4 ○ DP5 ○ ナンパリング WE21309J

學習課題（予習・復習）

| | |
|-----------|---|
| 毎時間、課題を指示 | 1 |
|-----------|---|

授業計画

| 第1回 | <p>以下の事例及びソーシャルワーク実習A、Bで体験してきた事を題材として、毎回相談援助場面及び相談援助の過程（インテーク、契約、アセスメント、プランニング、支援の実施、モニタリング、効果測定と支援の評価、終結とアフターケア）を想定したグループ討議及びロールプレイング等を用いて、アウトリーチ、ケアマネジメント、チームアプローチ、ネットワーキング、社会資源</p> |
|-----|--|
|-----|--|

| | |
|-----------------------|--|
| | の活用・調整・開発等の実技指導を行う。 社会的排除事例 |
| 第2回 | 退院支援 |
| 第3回 | 地域移行 |
| 第4回 | 地域生活継続 |
| 第5回 | ピアサポート |
| 第6回 | 地域における精神保健（自殺）事例 |
| 第7回 | ひきこもり事例 |
| 第8回 | 児童虐待事例 |
| 第9回 | 薬物・アルコール依存事例 |
| 第10回 | 教育、就労（雇用）事例 |
| 第11回 | 貧困、低所得、ホームレス事例 |
| 第12回 | 精神科リハビリテーションについて精神保健福祉援助実習2後 |
| 第13回 | ソーシャルワーク実習における学生の個別的体験の一般化を図るため、グループ討議1 |
| 第14回 | ソーシャルワーク実習における学生の個別的体験の一般化を図るため、グループ討議2 |
| 第15回 | ソーシャルワーク実習における学生の個別的体験の一般化を図るため、グループ討議3およびまとめ |
| テキスト | 未定（講義内でお知らせします） |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 「我が国の精神保健福祉」厚労省障害保健福祉部精神・障害保健課監修最新版 |
| 課題に対するフィードバックの方法 | 授業貢献度 プレゼンテーションにて評価します。 その他については、具体的な実践場面を想定した実技指導（ロールプレイ等）やグループワークの内容、積極性や参加意欲も併せて評価します。 |
| 学生へのメッセージ・コメント | 精神保健福祉に関するすべての講義、実習、実習指導、演習の内容を、今一度確認して臨んでください。 3年次の「ソーシャルワーク実習A」、4年次の「ソーシャルワーク実習B」を履修する学生のみが履修できます。 実習に向けて各自で、自主学習をすすめてください。 |